

研究会の視点

- 前半の授業研から見えた課題について
(後半の発問、座席表の分析、板書の構造化、目的や課題が子どもが落ちているか)
- 「資質・能力の育成」の視点から(本時目標の妥当性、資質・能力の育ち、評価規準、適切な手立て)

2年2組 (中尾級) 「とべコミュニティハウスを知りたい」

【担任の意図】

コミュニティハウスの様子を見学したり一緒に参加したりして感じたことを伝え合い、次回の探検の視点(利用者がどんな思いをもっているか)をもつようにする。

【授業の様子】

自分たちの楽しかったことや発見したことを生き生きと伝え合う姿を見ることができた。子どもたちのつづやきの中に次回の探検の視点がすでにあったので、それを取り上げるとよかった。



3年1組 (武藤級) 「みんな大好き!野毛山公園」

【担任の意図】

野毛山公園について体験したり調べたりしたことを、ガイドブックと音頭のどちらかで表現していくかを、自分たちで決めた条件や、それぞれの良さをもとに選択する。

【授業の様子】

表にまとめていくことで音頭が自分たちの目指したい条件に合っているということが視覚化された。字や絵で伝えられるガイドブックのよさも生かしていこうと、少数の意見も大事にしていこうとする子どもたちの姿が見られた。



4年1組 (吉川級) 「おいしく食べ隊!学校の木の実」

【担任の意図】

今までの梅・柿・ナツメを調理した経験を振り返りながら、調理方法を決めるときに大事にしたい基準を整理する。

【授業の様子】

グループごとにボードを使って、個人が思いをもって取り組んでいた。複数ある基準の中で絶対に外せない基準は何かを、理由を出し合いながら、子どもたちが生き生きと選ぶことができた。



5年1組 (花村級) 「かがやけ!5-1ストーリーテリング」

【担任の意図】

校内お話を振り返ったり、学校司書からのメッセージを読んで考えたりしたことを話し合うことを通して、自分が選んだお話のよさや伝えたいことを見つめ直すことの大切さに気付く。

【授業の様子】

一人で考えた後、グループの友達と共同思考し、さらに個に還っていくという授業の流れがよかった。



6年2組 (遠山級) 「和菓子でとべを元気に!」

【担任の意図】

自分たちが作ったあんこと、職人さんが作ったあんこを試食して比較したことを話し合うことを通して、改善すべき課題を明確にもつ。

【授業の様子】

食べ物扱う単元の在り方や、授業の流れについて。この時間で身に付けさせたい力は何か、そのために教師が投げかける言葉や支援は適切であったか、学習場面はあったか。



講師の先生から

- 探検の時には、視点やめあてをもたせることで本質や深まりができるようにする。(生活)
- 「誰に」「何のために」など、対象をはっきりさせ、方向性が見えるようにする。(総合)
- 課題には2種類ある。①自分たちで見つける課題②プロから本質的なことに気付かされる課題。(総合)
- 個が深まるためのグループの話し合いをすることと、その話し合いの必然性があること。主体的に、協働的な学びができることをめざしたい。(総合)